

特定非営利活動法人

ほしのくま

発行：NPO法人星のくま
 住所：雲仙市愛野町乙2336-1
 TEL：0957-36-7575
 FAX：0957-36-7576
 URL：hoshinokuma.com
 発行責任者：磯田 正也

ほのぼのと しあわせになろう
 のんびりとくじけるな まけるな!



「変化する時代」を柔軟な対応で
 新しい年を切り拓き着実に前進する年に

新年明けましておめでとうございます。

特定非営利活動法人「星のくま」も今年で四回目の新年を迎えることが出来ました。これもひとえに、星のくまが提供する各種サービス事業を選択し、利用して下さる利用者様・ご家族様、地域の方々や、関係する各種団体様のおかげと深く感謝申し上げます。

さて、年が明けて新聞等の報道によれば、今年は「変化する年（歴史の節目に）」と報じられており、要因として、主要国のトップの交代等で政治や経済が不透明である事があげられています。

私達の障がい福祉サービス事業も、来年には「障害者総合支援法施行三年後の見直し」が予定されています。現状を把握し、課題等を整理しながら、提供するサービスの「質」が向上出来る為には、支援者の専門性を高める必要性があります。その為には、各種研修（事業所内・外）を通して、人材育成を積極的に、又、他の事業所（法人）との連携を更に深めながら、研修等の共同実施や業務の協同化を推進してまいります。

来たる「変化」に柔軟な対応と実行力を備え、歴史の節目に立ち、新しい支援のあり方に、一人一人が向き合って参ります。その結果、安全で豊かな生活を送れることの助けになつていければと考えております。

新しい歳は新しい出発のスタートラインです。無限の可能性を秘めた個々の能力を引き出し、課題に真摯かつ果敢にチャレンジする年にして参りますので、更なるご支援をお願い申し上げます、年頭に当たつてのご挨拶と致します。

NPO法人 星のくま

理事長

磯田 正也

ワークセンターあいの

明けましておめでとうございます

今年の初日の出は晴天に恵まれ、眩しい光の中で清々しい年を迎えました。

今年のワークセンターあいのには、新設したアイロンプレス班を軌道に乗せ、利用者様のニーズに合わせた作業種目の提供を行い、工賃向上に繋がるように取り組んでいきます。

初詣へ行ってきました



謹賀新年

今年最初の行事として千々石町にあります橋神社へ初詣に出掛け、それぞれの思いを込めて参拝されていました。利用者様や職員も健康を祈願してきました。またおみくじを引かれ、今年一年の運勢をされる方もいらっしゃいました。年明けから利用者様の笑顔が沢山見られました。普段は作業を真剣に取り組みされており、その息抜きとして行事を思いっきり楽しまれています。

星のくま ～給食拜見！～

ワークセンターあいのでは作業の一環として、厨房作業をしております。毎月の月例食は盛りだくさんで食べごたえがありますよ。また行事食にもこだわって作っており、利用者様も楽しみにされています。



★栄養士からの豆知識★

七草…セリ/ナスナ/ゴギョウ/ハコベラ/ホトケノザ/スズナ/スズシロ

1月7日には七草粥を食べます。

七草粥には、正月にご馳走を食べて疲れた胃腸を休め、1年間元気で過ごせるようにと願いを込めて古くから食べられています。

1年を通して、皆さんに美味しく食事をしてほしいと思っています。

ワークセンターあいのでは就労継続支援B型事業の他に就労移行支援事業をしています。

就労移行支援事業とは？

一般就労を希望する65歳未満の方が対象で、必要な知識・能力を身につけ、事業所の作業を通して、その人に合った実習・職場探しのサポートをします。また就労後の職場定着までの支援をする障害福祉サービスです。



就労支援プログラムに沿って、一人ひとりに合わせた訓練を行います。

- 導入訓練 (軽作業により個別能力評価、体力、マナー等)
- 基礎訓練 (作業技術の習得、職場見学、社会資源の活用)

- 実践訓練 (施設外実習、職場見学、社会資源の活用)

- 就職 (面接練習、一般企業へ就職)
- 定着支援 (巡回支援)



その他にも

- 社会生活訓練…マナー、電話対応、言葉使い、金銭管理等
- 生活訓練(日常)…掃除、洗濯、身だしなみ等を支援しております。



利用者の方が頑張っている仕事を是非見学へいらして下さい。利用者、職員一同お待ちしております。



第3班の集合写真



ケアステーションあいの

あけましておめでとうございます

本年も皆さんが元気に新春を迎えることが出来ました。お陰様で利用者の皆さんも元気に過ごされ、充実した毎日を過ごしております。私たちスタッフも入浴、排泄、食事と日々の支援はもとより、創作活動や生産活動、身体的機能の維持向上を目的として、利用者の皆さんが「また来たい」と思ってもらえるように日々努力してまいります。

本年も生活介護の皆さんと共に元気で健康に一年間を過ごしていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



今年もみかん作業スタート

今年度も、缶詰みかんの皮むき作業が開始しました。この作業は2年前から「皆さんができる簡単な作業」としてスタートし、今も生活介護がメインとなり行なっています。さらに昨年12月に新しく作業棟を設けたことで、より作業がしやすくなり、皆さんが集中して働く空間ができました。みかんの皮むきから身割りまでの工程を今日も丁寧に皆さんで頑張っています。



今年最初の素敵な笑顔を集めました！
皆さんもこのステキな笑顔に負けないような、素敵な笑顔
いっぱい過ごせますように☆



おめでとう!



祝
金メダル

平成28年10月22日より開幕した「第16回全国障害者スポーツ大会・2016希望郷いわて大会」の陸上競技に出場しました。開会式では、長崎選手団52名を代表し旗手を務めました。結果は、陸上少年(混合)4×100mリレーにて優勝。陸上少年400mにて3位。同200mにて4位の成績を収められました。



迎春

キッズステーションあいの



キッズステーションあいのも開所から三年半となる暖かな新年を迎えました。開所当時は、平均二〜三名だった放課後の利用児童数も今では定員を満たすようになり、休日には多くの児童さんで賑わっています。これからは、一月に開所した短期棟も活用しながら、今まで以上に様々な活動や体験を行っていきたく考えています。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

南高愛隣会 すくすくさん 交流会



おばまの森 そら・おおぞらさん

いっぱい話して、いっぱい笑って楽しい時間となりました



つきたてのお餅はとても美味しかったです!

平成28年12月27日(火)に、すくすくさん、そら・おおぞらさんと合同豚汁会を開催しました。みんなでもちつきをしたり、豚汁と当法人の児童達が作ったおにぎりを頂いたり、子供達の思い出に残る機会となりました。これからも、このような交流の場を持ちたいと思います。

クリスマス会 トーンチャイム演奏・手話発表



上手にできました♪



キッズステーションあいの 冬の思い出

僕は、夏休みにキッズステーションあいのを利用しました。その時に色々な所に連れて行ってもらったのですが、その中でも一番の思い出になったのが、みらい長崎コウォークに漫画ワンピースの映画を観に行ったことです。

実は、ワンピースの映画が上映開始された時からずっと観たかったため、両親に頼んで観に行っていました。なので、キッズステーションあいののみんなと見た時は二回目でしたが、学校の友達と一緒に観れて楽しくてよかったです。二回観ても楽しめました。

今年は、挨拶を聞こえるように大きな声です。誰にでも積極的にお話をする。出来るだけ学校を休まないようにする。この三つを目標に頑張っていきたいです。

諫早特別支援学校 高等部 2年
中川 光輝



今年もよろしくおねがいします

移動支援を利用して… 五島へ!!!

入居者の大口進也さんは、お正月・GW・お盆と年に3回程、実家がある五島市へ帰省されます。入居されたばかりの頃はグループホームの支援員が付き添い、事業所の車でフェリー乗り場まで送ってもらい帰省されていましたが、“高等部時代に訓練し、利用していた公共交通機関を利用して帰りたい!”との願いから、**移動支援**というサービスを利用してヘルパーさんと一緒にタクシー・電車・フェリーを乗り継ぎ、故郷の五島市まで帰省されています。



タクシーで出発!



改札もバッチリ



スロープがあるから大丈夫!



フェリーの中ではゆったり♪



無事、五島につきました!!



ありがとうございます

エキマエタクシー愛野営業所様
ヘルパーステーションほっと様
写真撮影へのご協力
ありがとうございました。

グループホーム星のくま1号館

あけましておめでとうになります



「グループホーム星のくま1号館」も無事に三年目を迎えることが出来ました。多くの方々「ご利用頂き、また、地域の方々や多くの皆様に支えて頂き、心より感謝申し上げます。本年も地域の行事に一つでも多く参加させて頂き、より地域の皆様との交流の場を多く持ち、より地域に溶け込んでいけたらと思っております。私達スタッフは豊かな心で利用者の方々へ寄り添いながら、質の高いサービスを提供できるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

祝成人



**あめでとう
ございます**

ハタ千の抱負!



大口進也さん

20歳になったので、ちょっとだけお酒を飲みたいです。そして、車の免許を取り、助手席には彼女を乗せて長渕剛のBGMでドライブをしたいです!



吉岡芽生さん

将来の夢は一人暮らしをして…いつか結婚もしたいです♥

今回移動支援を利用された大口さんのように一人では困難かもしれない外出や移動を可能にすることでより自立した生活を送ることができたり、また、コンサートや大相撲を見たい!など個人が希望される余暇活動を通して社会参加をして頂けるよう日々の支援に、さらに個別に対応した支援をプラスしてより充実した生活を送って頂けるようにと思っています。

豆知識

移動支援とは??

屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行なうことにより、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援することです。

日帰りバス旅行 IN 佐賀

平成28年11月24日に佐賀県まで日帰りバス旅行へ行きました。「こどもびいる」で有名な小城市にある友桝飲料工場見学を行い、有田ポーセリングパークにて豪華なバイキング昼食を頂きました。楽しいことはとても時間が経つのが早く、皆さんの大切な思い出となった旅行となりました。



冬の行事特集

星のくま

大忘年会

今年度はケアステーションあいのにて、「星のくま大忘年会」を開催しました。毎年恒例の出し物(余興)や鍋をはじめとした豪華な料理、最後はお楽しみ抽選会など、今年一年間を労い、来る年と一緒に頑張っていこうという気持ちにさせてくれる行事となりました。



抽選会1等当たりました!



今年も美味しくできました!



うまか〜!



えええ〜!? 話題のあの人も!



クリスマス会 ~長崎ウエスレヤン大学様歓迎~

今年度も長崎ウエスレヤン大学様に参加していただき、クリスマス会を開催しました。学生による歌と楽器演奏の出し物や留学生のダンスなど、音楽に合わせて手拍子をしたり、一緒に歌ったりと楽しい素敵な会となりました。



Merry Christmas



おめでとう!



つきたて美味しかね〜



あつかはい! ばってん美味しかね〜



年末恒例のもちつき大会を開催しました。他事業所・関係各所に参加いただきました交流を深めることができました。終始、笑顔いっぱいのもちつき大会となりました。

もちつき大会

★★★★★★ ケアステーションあいの 短期棟完成! ★★★★★★

ケアステーションあいの増築工事が完了し、1月より短期入所を4床から6床に増床して再スタートしました。工事中は利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。今回、短期入所を利用される皆様の生活をイメージしながら、色々とこだわってみました。見学や利用を希望される方はいつでもお気軽にご相談ください。



高い天井で広々とした空間…



車いすの方に配慮したバリアフリーの建物です。館内に段差はなく、トイレや廊下の手すりはもちろん、和室は畳の高さを約40cm高くすることで下肢に障がいがある方に配慮し、洗面台は車いすの方でも蛇口まで楽に腕が伸ばせるよう高さと形状を工夫しました。



広い廊下は車いすの方も余裕をもって移動できます



洋室は可動式の壁で個室が不安の方は大部屋にもできます



丁度いい高さでしっかり手洗いができます

和室3室・洋室3室の個室は壁紙やカーテン等の色を変えることで空間に変化をもたせています。

内装がそれぞれ違う和室で泊まる度に気分も変わるかも!?



元気いっぱいおいしいごはんをお届けします



おうちの様な空気です！



壁紙check!

畳タタミ

和室は高さや手すりがあることで立ち上がりや移乗が楽にできます

畳check!



なんといっても楽しみの食事です。管理栄養士が作成した献立による手作りの食事をスタッフが心を込めて提供します。



相模原障害者施設殺傷事件を考える

昨年7月に発生した元職員が利用者を襲い、死傷者45名、うち19名が死亡するという傷ましい事件に衝撃を受けた。

事件をめぐっては、元職員が措置入院し退院していたこと、重度障がい者を冒とくする供述を繰り返していることが事件後の報道で明らかになっている。今回の事件を契機として精神医療が特殊な医療へと逆行すること、精神障がい者差別が助長されることになってはならない。元職員は「通り魔」ではない。勤務中には障がい者に対する虐待行為や暴言もあったという。なぜこんな人物を雇ったのか、どうして指導や改善ができなかったのか、なぜ犯行予告をされながら、守れなかったのかという、なぜ、なぜがつきまとう。

障がい者の皆さんは施設を選ぶにあたって、不平は言わないだろう。それは「良い施設」だからか、障がいが重くて話すことができないからなのか、楽しそうな顔をしているように見えても、それは他の選択肢を知らないからではないのか、ハプニングに富んだ自由な地域社会では、さまざまな人との出会いや心の交流がある。挑戦や冒険をして感動したり、悔し涙を流したりすることもある。そうした体験をした上で、それでも彼らは入所施設を選ぶだろうか。障がい者本人の意向は、言葉は解せなくても、時間をかけてさまざまな場面を経験し、気持ちを共有していくと、言葉以外の表現手段で思いが伝わってきたりするものだ。容易ではないが、障がい者本人の意思決定支援にこそ福祉職の専門性を発揮することになるのだ。

社会学者の上野千鶴子氏は、「「**齢を重ねる**」とは「**弱いを重ねる**」ことだという。超高齢化社会とは、どんな強者も強者のままで死ねない、弱者になっていく社会であること。すなわち、誰もが身体的・精神的・知的な意味で中途障がい者になる社会だ」と続ける。いついかなる時に自分が社会的弱者にならないとも限らない。弱者になれば、他人のお世話を受ける必要も出てくる。弱者にならないように個人的な努力をすることも大事だが、弱者になっても安心して生きられる社会をと訴えたい。今年も変化のある年になることが想定される。「見ざる、言わざる、聞かざる」という三猿にならずに、『よく見て、よく聞いて、よく話をして』実行・行動(躍動)のある年にしていきたいものだ。

NPO法人星のくま
アドバイザー 菅崎 康範



成人式・年祝い

今年、成人・還暦を迎える方々のお祝いをしました。橘神社でお祝いをすまされ、たくさんの方々にお祝いの言葉をかけられたりと、とても嬉しそうな表情を見せられていました。

成人を迎えた方の中には高校時代より利用してくださっている方もいらっしゃる、成長した姿にとっても感動するとともに、月日の流れの早さを実感しました。また、夢大使の皆様を迎え、瑞宝太鼓の披露をして頂き、心温まる式となりました。



相模原障害者施設殺傷事件を受け、当法人は安心・安全に目を向け、更なるサービスマス向上を行うため防犯対策の強化をしました。グループホーム星のくま1号館や新設した短期棟には、セキュリティが会社と連携し、外部からの侵入者を未然に防ぐと共にセキュリティがあることで、利用していただく方々が精神的にも安心して、安らぎを感じれる場所作りに努めました。

セキュリティ対策 安心・安全な場所へ

たくさん笑顔をお届け中...
皆さん見てくださいね★

随時更新中!



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年星のくまでは、成人者を6名迎え、喜ばしい新年を迎えております。着物姿や真新しいスーツを着た成人者を見ると、こちらもきりっとした気持ちになり、気が引き締まります。「まだまだ若い子には負けないぞ!」と気持ち新たに、今年も頑張っていきたいと思っておりますので、これからもあたたかいご支援をくださります様、よろしくお願い申し上げます。

(星のくま 広報部)